

離陸前に訪れた終戦

はむら もといち
羽村 元一 さん (98)



▲インタビューの様子
を YouTube で視聴す
ることができます。



▲志願した頃の元一さん
(17 歳)

■飛行機が好きで志願
大正15（1926）年生まれ
です。昭和8（1933）年に
西多摩国民学校（今の小学校）、
中学校2年生相当）に入学し、
昭和16（1941）年に卒業し
ました。立川の軍需工場に就職
し、1年ほど働いた後、飛行兵
に志願しました。

もともと飛行機が好きで、本



当は予科練（海軍飛行予科練習
生）に入りました。ただ、ど
なげか埼玉にあった陸軍の熊谷
飛行学校に受かったんです。西
多摩では2人しか受からなかつ
た。優秀な人が志願してたくさ
ん落ちているのに。
私は次男だったので、いつか
は家を出ると思っていました。が、
志願したんです。同級生には「お
前は馬鹿だよ。特攻隊なんか行
ったら死んじゃうぞ」とってず
いぶん止められましたけど。

■飛行学校での生活

寄宿舎に入りました。若い
ら腹が減ってしょうがなく、
まずい食事でもみんな食べてい
ました。まだ16歳くらいで子ど
もだったから、毎日無我夢中で、
羽村の家族のこともあまり気に
する余裕がありませんでした。
お国に捧げた体だと思ってね。
訓練は厳しかったですね。朝
6時起きで、勉強や訓練をし
ました。実技はともかく、大学に
行っていたような人ばかりの中
で、私には座学が本当に難し
かったです。飛行機だから、気
流だとか微分積分だとか、エン
ジンの構造とか。あと、泳ぎが



▲息子の良宜さんと「はむら千羽鶴
プロジェクト」に協力

達者じゃなくて船の上から突き
飛ばされたこともありました。
あんまり訓練が厳しいから、追
い詰められて自殺した人もいま
したよ。自分で飛行機のプロペ
ラに頭を突っ込んだんです。

私は機関銃が好きだったの
で、そこで点数を上げて、そん
なに叩かれなくて済みました。
飛行機の操縦は難しかったです。
今皆さんが乗る乗用車、あんな
もんじゃないからね。計器が
いっぱい付いていて、速度計と
か上昇は何度だとか、パパッと
瞬間的に判断しないといけない
んです。

そうこうしているうちに、（特
攻隊の訓練基地になっていた）
桶川分教場に回されて、そこで
終戦になりました。



▲趣味の俳句を短冊にしたためのもの。
左の1枚は特攻に出て亡くなった戦
友を偲んで、終戦記念日に詠んだ。
「空に散りし 戦友の追憶 終戦日」

戦争は、勝っても負けても被
害が出る。たとえ勝っても、家
族とかには相当な被害が出ると
思います。だからやっぱり、戦
争だけはしちや駄目だと思いま
すね。

■戦争を知らない世代に 伝えたいこと

玉音放送は桶川で聞きました。
まだ訓練中だった。俺も死
なずに帰れるなど思いました
よ。戦争に負けてがっかりして
いるような学生は、周りにはい
なかったな。
教官や先輩たちは特攻として
出撃していたので、終戦があと
少し遅かったら、自分も出撃し
ているところでした。

■玉音放送は桶川で



▲羽村駅で出征を見送る人々（郷土博物館所蔵）



戦後80年が過ぎて

戦争体験を聴く

日本がポツダム宣言を受諾し太平洋戦争が終結してから、80年になります。多くの日本人が戦争を経験して
いない時代になりました。しかし、世界のあちこちではいまだに戦争が起こり、たくさんの方が戦禍に遭つ
ています。

私たちが過ごしている平穏な毎日も、過去の多くの犠牲の上に成り立っています。戦争の悲惨さを知り、
その悲劇を教訓に、平和の大切さを再認識する必要があるのではないのでしょうか。

戦後80年の平和啓発事業として今回、市内にお住まいで戦争体験のある方にお話を伺うことができました。
その中から5人の方のお話を紹介します（年齢は取材時）。

問合せ

総務課総務係内 333／秘書広報課広報・シティプロモーション係内 337

Contents

P 1 ～ 4

戦後 80 年が過ぎて～戦争体験を
聴く～

P 5

戦後 80 年ミニコラム／市民ス
ポーツまつり参加者募集！

P 6 ～ 10

お知らせ／学校再編～子どもた
ちの明るい未来に向けて～

P 11 ～ 12

情報アラカルト

P 13 ～ 14

こそだて掲示板

裏表紙

夏季花いっぱいコンクール審査
結果／はい！こちら消費生活セ
ンター

表紙の写真

「はむら千羽鶴プロジェクト」に
寄せられた折鶴

「はむら千羽鶴プロジェクト」には、
市民の皆さんの平和への願いが込め
られた折鶴が、2000 羽以上集まりま
した。

撮影日 2025/7/25



▲千羽鶴は、青梅・羽村ピースメッ
センジャーなどにより広島市に届
けられます。（青梅・羽村ピースメッ
センジャー出発式で。2025/7/29 撮
影・青梅市役所）